



「武井たか子を支える会」
生き活き政治ネット事務所
松山市衣山2-4-47早瀬ビル2F
TEL/FAX 924-2485



寒中お見舞い申し上げます。

私たちの暮らしに身近な松山市議会を通して、政治について考え、お互いの意見を交換できる場が広がるように、今年も活動していきたいと思えます。ぜひ、みなさんの意見や情報を届けてください。

ご参加、お待ちしております。

“第4回政治カフェ”

2014年11月24日開催

今回の政治カフェは、1年間フライブルクで暮らした松尾和子さんに、ドイツでの生活を紹介していただきました。フライブルクは市民電力を立ち上げた街、これからの日本がめざすところだと思います。

フライブルク市のエコステーションで、ボランティアとして働いていた松尾さんのお話を聞きました。

現地の美しい写真（人々・動植物・野山）の数々から、消費社会に浸かりきり、自然との接点さえも商品化されたぼくたちの社会との隔たりを感じました。また、これらの写真を観ていると「懐かしい」感覚＝既視感が呼びさまされもしました。

1970年代のフェッセンハイム原発建設反対運動、1980年代の黒い森への酸性雨による森林破壊からの教訓、1986年のチェルノブイリ原発事故が市民を環境保全に導かせたようです。そして、その自立的な闘いが市政を環境都市へと動かしたようです。

フライブルク郊外にはシェーナウという街があり、市民がたち上げた、再生可能エネルギーによる地域電力会社「シェーナウ電力」があるとのこと。日本と同じで、電力会社が独占していた電力網を買い取ることから始めたそうです。

ぼくたちは現在、巨大資本と国家権力の前で絶望しています。彼らから「地域の力」を学ぶことは重要ではないかと思えます。

谷口博徳



どうしたものか！？松山市の動物愛護行政

松山市では2013年度で892匹の猫が殺処分されました。この数は一向に減少せず、地域では野良猫の増加に歯止めがかかっていません。我が家にも次々とやってきて、現在、家猫4匹、保護した子猫6匹、庭に居つき避妊手術をした猫2匹と12匹の大家族となっています。また、保護した猫の里親探しの声は

たくさん寄せられています。もう、これまでの「餌をやらないで餓死するのを待つ」という対応には限界がきたと言えるのではないのでしょうか。熊本市のように「殺処分ゼロ」という行政としての方針を示す時代に来ているのだと思えます。そこで、今回地域猫に取り組む団体のお話を伺い、解決の道を探りたいと思えます。みんなで知恵をだしあってみませんか。

武井



“第5回政治カフェ”「地域猫」お話し会
とき：2015年3月7日(土)19:00～20:30
ところ：生き活き政治ネット事務所
お話し：ねこ☆にやら一ず 永井さん

松山市議会基本条例の策定、進行中

全国的に議会改革が進められています。松山市議会でも市民に開かれた議会を目指して基本条例の策定に取り組んできました。2013年の議長選挙をめぐる議会の混乱から、議長選挙のあり方も含めて改めて見直し、改選後2014年5月から仕切りなおして、年度末には完成の見通しです。この条例案に対して、市民のみなさんからの意見募集も行う予定です。ぜひ、関心を寄せていただきたいと思います。

兵庫県議会議員の不正な政務調査費の用途についての号泣会見、東京都議会議員の信じられないセクハラ野次など、議会の信頼を損なう事件は後を絶ちません。前任期中には松山市議会においても議会控室に県警の家宅捜査が入るといった事件が続きました。倫理条例の策定も急がれています。

何より市民の声を受け止め、民主的な議論ができる議会となるように、古い習慣を改め、新たな方法も取り入れていく必要があると思います。どんどん、意見をお寄せください。

早期に伊方原発運転差し止めの判決を求める署名を提出しました。

2014年12月24日に、95,452名の署名を松山地裁に提出しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

参加しませんか！ ※さまざまな集会の案内が届いていますので、紹介します。



戦争ダメダメ！ 集団的自衛権について語る会Ⅱ

と き：2015年2月15日(日)13:30～15:30 ところ：コムズ5階 大会議室

内 容：軍事費と財政の関係から、教育者の立場から、戦争と年金の関係などから集団的自衛権について発言、意見交換。

主 催：集団的自衛権について語る会世話人会

防災・避難計画と震災ガレキの今 末田一秀講演会

と き：2015年2月21日(土)13:00～16:00 ところ：愛媛県林業会館4階 中ホール

内 容：全国各地で広域処理された震災ガレキの検証、「川内モデル」(立地県と立地自治体の合意があれば再稼働できる)を使い、川内、高浜、伊方と順次再稼働していく安倍政権の方針と防災対策が必要な30キロ圏を設定する矛盾について話してもらう。

主 催：愛媛環境ネットワーク、ごみを考えるネットワーク愛媛

●3・11伊方原発をとめる愛媛集会&デモ—フクシマをわすれない！！再稼働を許さない！！—

と き：2015年3月11日(水)18:00～ 集合場所：坊っちゃん広場(松山市駅前)

内 容：アピール&集会宣言、デモ行進 ※横断幕、プラカード、鳴り物、コスプレなどの準備を

●井戸謙一さん講演会 「原発裁判とフクシマの現実」

と き：2015年3月22日(日)13:30～ ところ：コムズ5階 大会議室 (資料代500円)

内 容：井戸謙一さんは、2006年金沢地裁の裁判長として北陸電力志賀原発2号機の運転差し止め訴訟で、日本で初めて唯一の住民側勝訴の判決を出した方。裁判官、弁護士として原発問題に取り組んだ経験、「ふくしま集団疎開裁判」に関わる中で知り得たフクシマの状況についてお話しいただく。

主 催：伊方原発をとめる会

☆☆☆ お知らせ メールアドレスが1つになります。ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp 確認ください。☆☆☆